

こたえ とうみん 冬眠

ひょうじゅん 標準 ③

とうみん 冬眠

冬になると、カエルやヘビ、クマなどの動物は、すがたを見せなくなります。動物たちは、冬の間、何をしているのでしょうか。

じつは、こうした動物の多くは、土の中や木のあななどで、じつと冬をこしています。これを、冬眠とうみんといいます。シマリスやコウモリなども、冬眠とうみんをします。

冬は寒く、食べ物もほとんど見つかりません。動物が体温をたもったり、動き回ったりするには、たくさんエネルギーが必要です。そこで、動物たちは、体温を下げたり、息をする回数をへらしたりして、エネルギーをできるだけ使わないようにしているのです。

カエルやヘビは、まわりの温度とともに体温が下がり、ほとんど動かなくなります。クマは、秋のうちにたくさん食べて体に脂肪しぼうをたくわえ、冬の間は、あなの中でねむるようにしてすごします。

春になってあたたかくなると、動物たちは目をさまし、また活動を始めます。

1

動物が、土の中などでじつと冬をこすことを、何といいますか。

と
う
み
ん

2

動物たちが冬眠とうみんするのは、どうしてですか。

冬は寒く、食べ物も少ないので、エネルギーをできるだけ使わないようにするため。

3

冬眠中の動物の様子に合うものはどれですか。

ア 体温を上げて、よく動く。
イ 体温を下げ、息をする回数をへらす。
ウ 食べ物をたくさん食べる。

4

クマは、秋のうちに体に何をたくわえますか。

し
ぼ
う

おうちの方へ

- 「じつは」「そこで」というつながり言葉に注目すると、問いと答えの関係がつかめます。

参考資料：Honda Kids 「冬眠のしくみとナゾ」／WWFジャパン 「クマの冬眠の謎にせまる」